

つかさ会 会報



2022.11月

会員のみなさん、こんにちは。11月13日～19日の1週間は「全国糖尿病週間」でした。今年のテーマは「アドボカシー ～偏見にNO!～」でした。岐阜城をはじめとする、岐阜県内の各名所が糖尿病啓発運動のシンボルカラーであるブルーに染まるライトアップ事業や、世界糖尿病デー記念県民セミナー、バーチャルウォークラリーなど様々なイベントが催され、ご参加された方もいらっしゃるのではないのでしょうか。また10月30日にはつかさ会秋の講演会が開催されました。岐阜大学医学部附属病院 西7階病棟看護師の内藤和代先生から「一緒に学ぼう 介護保険制度」として、介護保険制度の仕組み、病気や怪我で介護が必要になった際にどのようなサービスが利用できるのか、具体例も交えてわかりやすくご講演をいただきました。久しぶりに対面での開催もでき、みなさんと一緒に日頃の食事運動療法や社会参加を行うことの重要性を学ぶことができました。さて、今回の「さかえ」のよみどころは、当科の河合先生に紹介してもらいます。

会員の皆様、こんにちは。岐阜大学医学部附属病院 糖尿病代謝内科/免疫・内分泌内科の河合です。日が暮れるのが一段と早くなり、朝晩の冷え込みに晩秋の訪れを感じるようになりました。皆様はいかがお過ごしでしょうか。

さて、今月の「さかえ」の特集1は【脳の健康を守る(P.6)】です。糖尿病と脳には深いつながりがあり、認知症や脳梗塞といった脳の代表的な病気の影には糖尿病がとても影響していることが最近の研究で明らかとなっています。本特集では、認知症や脳梗塞の種類それぞれに分けた特徴の説明を始め、脳の検査の写真と一緒にどのように診断していくかを詳しく解説しています。

特集2は【肥満症治療法の広がり(P.17)】です。肥満と聞くと、皆さんはどのようなことを思い浮かべるでしょうか。特集2ではまず肥満や体重についてどう考えるべきかが詳しく解説されています。そのうえで、今の医療が行っている肥満に対するあらゆる治療法を紹介しています。糖尿病と肥満、体重の関連性を考えていただき、これからの生活や治療に役立てていただければと思います。

それでは、今月の『さかえ』をどうぞご一読ください。更に冷え込みが強くなってきますので、くれぐれもご自愛くださいませ。